

飛翔 人権通信



人権教育・啓発通信：「飛翔」
発行：那賀川中学校
(No.1) 2026 (令和8) 年4月27日 (月)
文責：人権教育主事 中岡 和也

◇令和8年度那賀川中学校スタート

新入生のみなさんは那賀川中学校の生活に、2・3年生のみなさんは新たな学級での生活に慣れたでしょうか。各学級の授業や休み時間の様子を見た際にみなさんが真剣な表情で学習に取り組んでいたりと、友達と笑顔で話していたりして、「那賀川中学校はとていい学校だな」と感じました。また、すごくうれしいことが2つありました。1つめは、朝の自転車置き場や廊下ですれちがうときに、必ず気持ちのよい挨拶を2・3年生がしてくれます。日々、みなさんから元気をもらって学校生活を過ごせていることに感謝しています。2つめは、私が重い荷物を持っているときに、1年生の子が「大丈夫ですか。手伝いましょうか。」と温かい言葉をかけてくれたことです。周りから気にかけてもらえることって、「幸せだな」と実感しました。この一年間、誰もが幸せに過ごせる学級づくり、一人一人のよさを認め合える仲間づくりをめざしてほしいです。そのためには、自分の近くにいる仲間を大切にしてください。もし、隣の席の人が休んでいたなら「大丈夫かな」「いけるんかな」と心配のできる人であってほしいです。



◇那賀川中学校の人権教育

～保護者の皆様へ～

那賀川中学校の人権教育は、すべての人の共通の思い・願いである「幸せでありたい」という気持ちを大切に、すべての生徒の人権が守られる学校づくりをめざします。また、豊かな心を持ち、多様性を認め、「いのち」や「もの」を大切にできる那賀川中学校にしていきます。

保護者の方の思いや願いにも寄り添いながら、子どもたちのよりよい成長へとつなげていけたらと思いますので、那賀川中学校の人権教育に御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

すべての生徒が幸せを感じられ、那賀川中学校を大好きでいられるような学校にしていきます。

◇教科書に込められた思い

なぜ教科書が無償で配られるのでしょうか。そこには差別に負けずたくましく生きてきた人々の歴史や思いが込められています。1961 (昭和36) 年から始まった高知県での教科書無償への闘いは、日本国憲法に保障されている教育を受ける権利を獲得する闘いでもありました。すべての子ども



に平等な学びの権利を求めた運動は、全国に広がり、国会でも大きな問題として取り上げられました。その結果、1969 (昭和44) 年には、すべての小・中学校での無償化が実現しました。

こうして毎年新しく配られるようになった教科書には、子どもの幸せを願った保護者たちの熱い思いが込められています。

◇那賀川中生 新年度の抱負 特集

僕の一年間の抱負は、テストで70点以上をとって、5教科で350点以上をとることで。そのために、きちんと授業を受けて発表をしたいです。

私の一年間の抱負は、学習面において苦手教科と決め付けず、諦めずに努力をすることです。生活面では、ちがいを認め合い、友達とのつながりを広げたいです。自分も周りの人も大切にできる一年にしたいです。

私の一年間の抱負は、志望校に合格することです。そのために、毎日の受験勉強を怠らず、継続できるようにしていきたいです。

◇那賀川中学校区人権ふれあい子ども会活動について

阿南市では、平成17年より「人権ふれあい子ども会事業」が行われています。人権について共に学び、人権問題について自ら考え、これを解決していくことができる児童生徒を育成するために、子ども会活動を支援し、人権教育を推進する目的で行っています。現在10の小学校区で行われており、本校区内でも平島小学校区と今津小学校区で人権ふれあい子ども会活動を実施しています。那賀川中学校の先生方もサポーターとして参加し、人権についての学習や教科の学習、仲間づくりを目的とした様々な活動を毎週木曜日に行っています。参加希望のある生徒は、担任を通じて申込書を提出してください。

◇2年生の人権学習

2年生では、修学旅行に向けて平和学習に取り組んでいます。沖縄の文化や歴史、沖縄戦についてなど様々な視点から学習への理解を深めています。今後も、一人一人が平和の大切さや命の大切さについて深く考え、まずは身近な人を大切にできるようにしていきましょう。

